

ものを粗末にしない時代から伝わる掃除やお手入れの知恵をご紹介します。



昔ながらの

暮らしの知恵

身近な物を使って賢く掃除編

知恵  
1

## 飲み残しビールは磨き掃除で再利用

飲み残しのビールは捨てずに再利用しましょう。グラス4分の1ほどのビールを雑巾にしみこませ、冷蔵庫やガス台、電子レンジ、タイル、窓ガラスなどさまざまな磨き掃除に使いましょう。水ぶきでは落ちなかった汚れも軽くこするだけで見事に落ちますよ。

知恵  
2

## 茶殻は捨てずに掃除でリサイクル

お掃除に茶殻は活用できるので、捨てずに取っておきましょう。

## ■カーペット

よく乾かした茶殻をカーペットにまいて掃除機をかけると、とれにくい髪の毛などもきれいに吸い取れます。



## ■玄関

湿った茶殻をまいてから掃きとるとホコリを立てずにお掃除できます。

知恵  
3

## ジャガイモの皮で鏡をピカピカに

表面が汚れている鏡はジャガイモの皮を使いましょう。皮の内側で鏡をこすり、乾拭きすると表面がピカピカになりますよ。

知恵  
4

## 身近なもので畳の黄ばみをとる

畳の黄ばみには、みかんの皮の出し汁を使いましょう。鍋にみかん5個分の皮と水を入れ、15分ほど煮ます。この煮出し汁でふくと効果があります。また、黄ばみ防止には、2〜3倍にうすめた酢水を作り、畳を拭いたあとに乾拭きするといいですよ。

知恵  
5

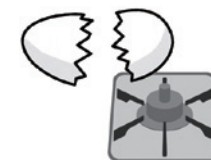
## 大根おろしで障子をリメイク

障子の黄ばみは、大根おろしのしぼり汁を障子にうすくぬります。風通しをよくして乾かすと、見違えるように白く丈夫になります。

知恵  
6

## ガスレンジのしつこい汚れはたまごの殻でピカピカ

ガスレンジについたがんこな汚れはスポンジに洗剤をつけて、その上に細かく砕いた卵の殻をのせて磨くと、殻が研磨の役割をして、きれいになります。

知恵  
7

## 浴槽のアカは新聞紙で吸いとる

お風呂は毎日湯をはりかえるのが理想ですが、時間的にも経済的にも余裕がなく、追炊きですましてしまうことはよくあります。

そこで気になるのが湯船に浮いたアカです。このアカをとるには、湯の上に新聞紙をそっと広げます。新聞紙がアカを吸いとってくれます。

